

宮城民医連  
東日本巨大地震

# 災害対策本部ニュース

ニュース =第5号=  
発行日 2011年3月15日  
発行 宮城民医連



4日間燃え続けた仙台港石油施設(3月12日・多賀城方面)



地震後の朝は霞かに明けた(3月12日・七ヶ浜町)



仙石線に乗り上げた車(写真提供藤原益栄多賀城市議)



貞山埠を流される船(3月12日・塩釜市)

## 地域で助け合い災害を乗り越え必ず復興を!



捜索する消防署員・長野県からの応援(3月12日・七ヶ浜町)

三月十四日現在、宮城県で七百八十五名の死者が出た東日本大震災(県警調べ)、宮城民医連職員にも犠牲者が出てしまいました。崩れた家屋にあるアルバムを取りに行きたいと消防署員に話しても許可はおりません。この甚大な被害にあうかあわいかは紙一重でした。私たちの地域でおきた災害です。復興のために今自分ができることを精一杯がんばりましょう。地域の方も被災者の方も復興にむけ動き始めています。(撮影 宮城民医連 神馬悟)